

プログラム（第3日目） 12月8日（火）

《 口 演 》

07:00～07:40 口演5 グリオーマ分子解析

座長 廣瀬 雄一

- O-22 細胞の腫瘍化過程における変異型 IDH1 による hTERT の再活性化
藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生
- O-23 神経膠腫発生における進化的に保存された long non-coding RNA の機能的スクリーニング
名古屋大学 医学部 脳神経外科 出口 彰一
- O-24 革新的プロテオミクスによる膠芽腫バイオマーカー探索
金沢大学 脳神経外科 古田 拓也
- O-25 術前 MR Spectroscopy によるグリオーマ IDH1 変異の予測可能性
神戸大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 長嶋 宏明

07:40～08:10 星野賞授与式ならびに記念講演

星野賞事務局

08:10～09:00 特別講演3

座長 有田 憲生

共催 エーザイ株式会社

[Methylation analysis and next generation sequencing of adult gliomas - impact on diagnosis and on the new WHO classification]

Andreas von Deimling

Department of Neuropathology, University Heidelberg,

Head CCU Neuropathology, German Cancer Center

09:00～10:10 口演6 グリオーマ予後予測因子

座長 竹島 秀雄、成田 善孝

- O-26 初発膠芽腫に対する MGMT メチル化検査法と予後予測能に基づいた判定基準の確立
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 市村 幸一
- O-27 IDH と TERT による成人神経膠腫の分子分類～国内多施設大規模コホートの解析
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 有田 英之

- O-28 WHO grade II/III 神経膠腫 700 例の大規模ゲノム解析から得られた遺伝学的予後予測因子
名古屋大学 医学部 脳神経外科 青木 恒介
- O-29 術前 CT の石灰化所見は grade II、III 神経膠腫の 1p19q LOH の有無の予測に有用である
東京女子医科大学 脳神経外科 齋藤 太一
- O-30 MRI による神経膠腫の網羅的画像解析法：大規模コホート解析に向けての提案
大阪府立成人病センター 脳神経外科 木下 学
- O-31 関西地区における脳腫瘍分子診断ネットワークの構築
関西労災病院 脳神経外科 森 鑑二
- O-32 膠芽腫（GBM）5 年以上長期生存例の臨床病理学的解析（後方視多施設共同研究）
埼玉医科大学病院 脳神経外科 藤巻 高光

10：10～11：00 招待講演 6

座長 澁井壯一郎
共催 東レ株式会社
「腫瘍不均一性のバイオロジーとその克服戦略の考案」
慶應義塾大学 医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門 佐谷 秀行

11：00～11：40 口演 7 グリオーマ幹細胞

座長 植木 敬介

- O-33 グリオーマ幹細胞の代謝可塑性の解析
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 柴尾 俊輔
- O-34 膠芽腫の偽柵状配列部領域における HIF-1 α /Akt 系活性化を介したがん幹細胞化維持
北里大学 医学部 脳神経外科 犬飼 円
- O-35 膠芽腫における低酸素環境による DNA 脱メチル化と幹細胞形質の誘導
千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科 岩立 康男
- O-36 エクソソーム内 microRNA プロファイリングによるグリオーマ幹細胞特異的 microRNA の同定
愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 山下 大介

11:40 ~ 12:10 口演8 放射線治療、PDT

座長 上羽 哲也

共催 Meije Seika ファルマ株式会社

O-37 原発性悪性脳腫瘍に対する光線力学的療法：現状における課題と展望

東京医科大学 医学部 脳神経外科学分野 秋元 治朗

O-38 ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) による再発悪性神経膠腫の治療～現状と展望

大阪医科大学 医学部 脳神経外科・脳血管内治療科 川端 信司

O-39 再発膠芽腫に対する Extended field stereotactic radiosurgery の有効性の検討

東京大学医科学研究所附属病院 脳腫瘍外科 田中 実

12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー3

座長 藤巻 高光

共催 ノボキユア株式会社

「Mechanisms of Action and Preclinical Data of Alternating Electrical Field Therapy (TTF)」

Andreas F. Hottinger

Departments of Clinical Neurosciences and Oncology, CHUV, Lausanne University Hospital, Lausanne, Switzerland

「Experience with TTFields for Glioblastoma: Clinical Trials and Patient Registries」

Steven A. Toms

Department of Neurosurgery, Neuroscience Institute Geisinger Health System Danville, PA, USA

13:10 ~ 14:00 口演9 悪性リンパ腫 (基礎と臨床)

座長 永根 基雄

O-40 中枢神経系悪性リンパ腫に対する全エクソン及びRNA シークエンスによる遺伝子異常解析

杏林大学 医学部 脳神経外科 永根 基雄

O-41 中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する網羅的メチル化解析による分子生物学的特徴の解明

横浜市立大学 医学部 脳神経外科 中村 大志

O-42 高齢者中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する照射を回避した治療戦略

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 三島 一彦

O-43 中枢神経原発リンパ腫に対する寛解導入後の地固め療法：3つのレジメンの比較

岡山大学大学院 脳神経外科 市川 智継

O-44 中枢神経悪性リンパ腫の髄液腫瘍マーカーの有用性－生検術は必要か－

神戸大学 医学部 脳神経外科 篠山 隆司

14:00～14:50 教育講演1 グリオーマ幹細胞

座長 橋本 直哉

脳腫瘍におけるがん幹細胞の有無とその意義

アラバマ州立大学 脳神経外科 中野伊知郎

14:50～15:40 教育講演2 グリオーマの腫瘍免疫

座長 宮武 伸一

抗腫瘍免疫の基礎から臨床～脳腫瘍に対する新たな治療戦略としての免疫療法～

関西医科大学 内科学 第一講座 伊藤 量基

15:40～15:45 次期会長挨拶

第34回日本脳腫瘍学会学術集会会長 隈部 俊宏

15:45～15:50 閉会の挨拶

第33回日本脳腫瘍学会学術集会会長 浅井 昭雄